



令和 8 年度の幕開け～144 周年目の新たな歴史をつくっていきます。～

校長 海老沼 寛之

3 月 25 日の卒業式。106 名の卒業生が、本校を立派に巣立っていきました。一人一人に「おめでとう」と言葉を添えて証書を渡した際、彼らが見せてくれた最高に凛々しい表情。そして、門出の言葉に込められた熱い思いや、心に響く歌声。6 年間で学んできたこと、成長してきたことの全てを出し切り、堂々と誇りをもって卒業していく姿がありました。

その姿を目の当たりにして感じたのは、

「卒業式のあの姿」こそが、私たちの教育が目指すべき一つのゴールであるということです。全教職員が、あの感動を共有しました。今日からまた新しい学級・授業を受け持つこととなりますが、私たちは常に「昨年度の卒業生の姿」をゴールイメージとして描いておく必要があります。1 年生であれば、6 年間かけてどう育てていくのか。6 年生であれば、この 1 年でどう仕上げていくのか。まずは私たち教職員（大人）がその到達点を明確に認識することが大事です。日々の指導や支援の中で、その「目指すべき姿」を子供たちに伝え続けていくことこそが、より質の高い教育につながると確信しています。



いよいよ本日から令和 8 年度が始まりました。13 日間と短い春休みでしたが、やはり学校の主役は子供たちです。活気が戻ってきました。

明日の入学式で **97 名の新 1 年生** が加わると、全校児童は **612 名** になります。2 年生の学級増（3 学級から 4 学級となります。）を含め、全 20 学級という大きな活気の中で新しい学校生活が始まります。

学年が上がり、環境がガラリと変わる 4 月。子供たちの心の中には、緊張や不安もあることでしょう。まずはその気持ちをしっかりと受け止め、新しい出会いを「希望」へと変えていけるよう、一人一人に寄り添った指導・支援を心がけてまいります。

「勉強や行事を頑張りたい。」「友達とたくさん遊びたい。」等、そんな子供たちの思いを大切に、「**明日も学校に行くのが楽しみ!**」と思える毎日を、学校全体で創り上げていきたいと考えています。



また、長寿命化工事の影響で、様々な制限がかかる中ですが、春休み中にだいぶ校庭で工事されていた仮設校舎の建設も進み、いよいよ以下のように仮設校舎への移動をすることとなります。

2 学期から仮設校舎へ
(3 学期からは工事後の元の校舎へ)
2 年生、3 年生、6 年生

3 学期から仮設校舎へ
(次年度の夏休みから工事後の元の校舎へ)
1 年生、4 年生、5 年生

結びに、学校経営とは、**教職員・保護者・地域とが一体**となってはじめて、よりよいものになると信じております。皆様とアイデアを出し合い、連携して、子供たちのための学校づくりを進めてまいりたいと考えております。今年度も一年間、どうぞ本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。